

「中枢賦活機能表示」で米国 FDA が承認 ホスファチジルセリン(PS)の臨床資料

～免研オメガPSの含有成分 総合版～



難病・がん治療による副作用を緩和するために細胞小器官「糖鎖」の研究・開発を



西洋医学と補完医療の融合で「難病克服」を推進する……

NPO法人 補完代替医療推進センターCAM の目的

当団体は、難病をはじめとするあらゆる疾患の闘病患者を対象に、関係する専門家や医療機関その他諸団体と連携を図り、現代の西洋医学と補完代替医療との併用による治療法の研究開発並びに実践を行うことを目的として設立いたしました。補完代替医療とは、機能性食品、中国医学の鍼灸・漢方、気功・呼吸法、Zen禅、各種伝承医学、アロマセラピー、食事療法等々を組み合わせ利用し、自然治癒力を回復させ、治療に導く方法です。そのための機能性素材や免疫機能賦活素材(細胞小器官・糖鎖)等々の調査研究開発事業を行うとともに、補完代替医療に関する情報の収集及び医療支援活動、相談活動を通じて、広く国民の健康に寄与することを目指します。

分科会「糖鎖自然医学研究会」「65才からの健康を考える会」「発達障がいを考える会」主宰 理事長 山本 英夫

<http://menken-cam.or.jp> <http://npocam.org>

作成：2021. 8. 24.

☛当センターでは、各種生活習慣病&難病でお困りの方の電話相談窓口を開設しました。
毎週土曜日の午前中にお電話ください。・・・ 06-6943-0122

あなたの脳は健康ですか～脳を健康に保とう～



最近、物忘れがひどい、なかなか人の名前を覚えることが出来ないなどの悩みはありませんか？脳の神経細胞の数は、加齢とともに減っていくと言われています。そのため、脳機能は何も対策をとらなければ、自然に衰えていってしまうのです。PS(ホスファチジルセリン)は、脳機能を改善する効果が報告されています。



■ PS(ホスファチジルセリン)とは

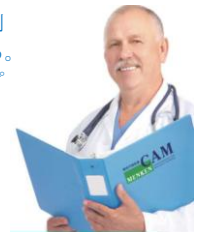
脳に存在するリン脂質の一種で、成人の脳細胞脂質中のおよそ18%を占めます。脳にとってのエネルギー源であるグルコース（ブドウ糖）の代謝を高め、脳を活発にするとされています。

● PS(ホスファチジルセリン)

ホスファチジルセリン（Phosphatidylserine、略称：Ptd-L-SerあるいはPS）は、リン脂質の成分であり、通常はフリッパーゼと呼ばれる酵素によって細胞膜の内葉（細胞質側）に留められている。

細胞にアポトーシスが起こる時、ホスファチジルセリンは細胞膜の細胞質側にもはや制限されず、細胞の表面に露出するようになる。後述される効用のためアメリカでは広くサプリメントとして普及している。

■当社のPSは、大豆レシチンに含まれるホスファチジルコリン(PS)を原料として、塩基交換反応にて製造しています。製造自体は日本の食品衛生法に準拠しています。



『物忘れ・難聴・耳鳴り・めまい！！』

PSと脳機能に関わる研究例

PSは脳細胞膜に多く存在することから、脳機能に関連すると示唆され、過去様々な研究や臨床試験が行われてきました。

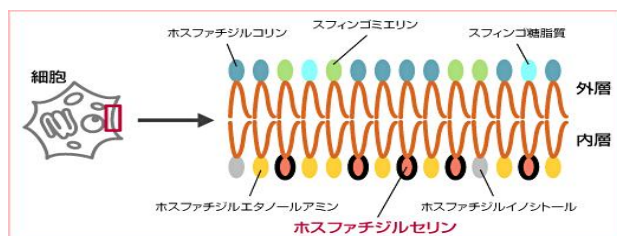
■ヒトのPS臨床報告例

1. アルツハイマー型認知症 300mg/日を投与で有効
2. 脳血管縮小型認知症 300mg/日を投与で有効
3. 加齢に伴う記憶力低下 300mg/日を投与で有効
4. 抑鬱症 300mg/日を投与で有効
5. てんかん患者；発作の減少
6. ストレス耐性 若者の運動時ストレスのホルチゾール低下
7. ホルモン分泌障害 甲状腺刺激ホルモン分泌リズム回復
8. 体内時計（サーカディアン・リズム）の異常を修復
9. 甲状腺ホルモン分泌リズムの正常化。

■PSの臨床効果に提案された作業仮説

1. 脳内アセチルコリンの増加（記憶障害モデルの回復）
2. 脂質過酸化反応の抑制（細胞フリーラジカル障害の軽減）
3. 神経細胞の形態維持（神経伝達効率の改善）
4. タウタンパク質の異常なリン酸化の重合抑制（痴呆症改善の効果）
5. 生体膜機能の向上（神経伝達物質の開口放出改善）
6. アポトーシスの抑制
7. 細胞内情報伝達系の改善
8. ホルモン分泌の改善

■PSの存在



脳内でPSは脳細胞膜のリン脂質中の約18%を占め、特に細胞質内側に存在しています。

海外でのPS研究と実績

海外ではPSに関する研究が盛んで、歴史も深く文献等は豊富に存在します。サプリメント大国のアメリカにおいてPSは、ブレインフードとして広く知られています。



- | | |
|--------|---------------------|
| 1950年代 | ……欧米にてPSの研究がスタート |
| 1995年 | ……米国にてPS製品発売 |
| 1996年 | ……米国にてPS製品のヒット |
| 1997年 | ……日本にてPS製品発売 |
| 2003年 | ……米国にてPSの限定的強調表示が認可 |
| 2013年 | ……韓国にてPSの強調表示が認可 |

■PSの歴史

PSは情報の伝達に関与していると考えられており、加齢により物忘れが多くなる原因だと言われております。PSを摂取することで、脳を若返らせ記憶力を向上させる効果が様々な実験から証明されています。

PSは1950年代から、欧米にて多くの臨床研究が実施され、アメリカを中心に市場が形成されてきました。アメリカと韓国では、PS配合製品の強調表示が認可されているなど、海外では、PSはブレインフードとして非常に認知度の高い素材です。

■海外の表示実例

＜アメリカ＞

栄養表示教育法（NLEA）によって、疾病リスクの低減表示が認可されており、規格基準を満たすと、「PSは高齢者の認知症リスクを低減させる可能性がある」などの表記が可能です。

作成：NPO補完代替医療推進センターCAM

◆ 大豆抽出成分：Phosphatidylserine(PS)の臨床試験。



＜アルツハイマー型認知症における PS の臨床試験＞

①

研究者	患者数	病 名	投与量	投与期間	PS による改善
デルワイク博士 (1986 年)	35 人	アルツハイマー (軽～中程度の 認知力低下)	1 日 300mg	6 週間(約 1.5 ヶ月)	患者、家族にとって有益な 行動と行為の改善。認知力 の改善。
アマチ博士 (1988 年)	115 人	アルツハイマー (軽～中程度)	1 日 200mg	3 ヶ月	認知力、記憶力、日常の 活動能力の改善。
セナシー博士 (1993 年)	425 人	アルツハイマー (中～重度)	1 日 300mg	6 ヶ月	認知力:短期記憶力、集中力 注意力。行動・行為:引き こもり、無感覚、日常活動 の改善。
クルック博士 (1992 年)	51 人	アルツハイマー 55～80 才	1 日 300mg	12 週	記憶力(家族の名前を思い出す。 置き場所を思い出す。昨日及 前週の詳細を思い出す。) 集中力、 認知力、障害の軽度の人は 3 週間で分かる。
パルミエリ博士 (1987 年)	87 人	認知症 (中程度の認 識力低下)	1 日 300mg	2 ヶ月	認知力:短期記憶力、注意力、 行動・行為:無感覚、引きこも り、日常生活。患者のクオリティ・ オブ・ライフを改善し、患者を家 族と会社へとどめおく。
ネジ博士 (1987 年)	35 人	認知症 (中程度の認 識力低下)	1 日 300mg	2 ヶ月	記憶力(思い出し)。
ヴァラルディータ (1987 年)	170 人	認知症(軽～ 中程度の認知 力低下)、55	1 日 300mg	90 日	記憶力、注意力、警戒心 PS の服用によって認知力低下 から認知症への進行は防止。
クルック博士	149 人	加齢起因性認 識低下(ARCD) 65～85 歳	1 日 300mg	3 ヶ月	全員に改善が認められた。 顔と名前、顔の認識、電話番号 置き場所間違い、読書力、会 話力、集中力。

平均年齢 64.3 歳のサブグループ 57 人では、
64 歳の記憶力年齢が 52 歳に若返った。

* プラセボとの比較による無作為二重盲検臨床試験

<備考>

②

- アルツハイマー型認知症で消失した認識力(記憶力、学習力、集中力)を部分的に蘇生する。
- アルツハイマー型認知症の無表情、無感覚、引きこもり、日常活動を中心とした行動と行為の改善。
- 患者のクオリティー・オブ・ライフを改善し、患者と家族と社会へとどめおく。
- 初期の症状の患者に最も大きな効果が期待できる。
- 認知症の初期の段階で摂取すると認識力劣化を防止する。
- 記憶力、認識力の低下で将来に不安を抱いていたり、非活動的で引きこもりがち、うつ症気味の人に、PS の大きな恩恵にあずかることができる。

<老人性うつ症における PS の臨床試験>

研究者	患者数	病 名	投与量	投与期間	PS による改善
マギオニ博士 (1990 年)	10 人	うつ症の婦人 70~80 歳	1 日 300mg	45 日	うつ症、社会的関心、 協調性が著しく改善。
ラッポニ博士 (1990 年)	30 人	うつ症、アルツハイマー 型痴呆症、脳 卒中後の痴呆	1 日 400mg	30 日	うつ症のグループは著しく 改善。
ギンデン博士 (1995 年)	72 人	記憶障害及び うつ症	1 日 300mg	3ヶ月	うつ症、記憶力、認知力

<パーキンソン症における PS の臨床試験>

フェンゲル博士 (1987 年)	12 人	パーキンソン	1 日 200~ 500mg	3 週間	9 人の患者で運動機能及び脳波 が改善。1 人患者は 500mg に 増やし、1 週間後に運動機能が 劇的に改善。
アルベンセイ博士 (1980 年)	10 人	アルツハイマー	200mg 静注	—	脳脊髄液におけるドーパミンの 代謝物である HVA 及びセロト ニンの代謝物である 5-HIAA の濃度 が増加。運動機能、対人関係が改善。

* プラセボとの比較による無作為二重盲検臨床試験

研究者	患者数	病 名	投与量	投与期間	PS による改善
マツルザ博士 (1990 年)	—	TSH ¹ 分泌抑制 のある老人	1 日 400mg	30 日	SH 分泌によるサーカディアンリズム (1 日の生体リズム)が回復し、 その回復は 22 歳の若者と同等であった。

備考：脳下垂体から分泌される TSH ホルモン分泌の正常化により昼と夜の活動が正常になる。夜の徘徊の改善につながる。

ネジ博士	14 人	DEX ₂ ¹ 抑制の ない老人、	1 日 300mg	60 日	DEX 抑制が回復した(スト レス対応への若返り)。
------	------	--	--------------	------	-------------------------------

備考：ストレス反応の正常化。無関心、無感覚、無表情が改善された。

クリンハマー博士 (1990 年)	8 人	アルツハイマー(軽～ 重症)57 歳～ 72 歳	1 日 500mg(F ² ドゥ糖)	21 日	PET 造影で、AD 患者特有の 脳代謝の低下が認められた(頭 頂・後頭・側頭・前頭部位)。PS 投与により、全般的頭部の代謝上昇 (15%)、大脳皮質及びその下部糖代謝 の著しい上昇、神経節及び視床では、 20%上昇、視覚皮質では、19%上昇。
----------------------	-----	--------------------------------	-------------------------------------	------	---

備考：脳の糖代謝の低下したアルツハイマー病、認知症、老人性うつ症、パーキンソン症
等々の脳の代謝を活発にし、神経機能の回復を可能にする。

モンテロン博士 (1992 年)	9 人	健康な男性 18～40 歳	1 日 800mg	10 日間投与 1 週間休み	肉体的運動負荷による AHTH 及び副腎皮質ホルモンの分泌 or 400mg を 1 セットとし、3 セット 反応が抑制された。
---------------------	-----	------------------	--------------	-------------------	--

備考：肉体的運動負荷によるストレスで誘発される視床下部・脳下垂体・副腎軸の活性上昇が
抑制される。若い人のストレス対応能力を高める。

ライセル博士	27 人の 子供	ADHD (注意散漫過多動) 3～19 歳	1 日 200mg	4 ヶ月間	27 人中 25 人に明確な臨床上 の改善が見られた。粗暴な行 動が一貫して沈静化された。 注意力、集中力、学習力及び行動 が改善され、効果は学力にまで及んだ。
--------	-------------	-----------------------------	--------------	-------	--

備考：子供に投与した場合も、副作用は全く見られなかった。又、注意散漫過多動に、米国で
はリタリン、アデラルが投与されるが、PS はそれ以上の効果を示し、副作用はない。

Note * 上記臨床試験において、PS に起因する副作用は一切報告されていない。

DEX：デキサメサゾンという合成糖質コルチコイド²のことで、若い人に投与すると、ストレスを 調節
するヒドロコルチゾンや副腎皮質ホルモンの分泌を 24 時間以上抑制する。(DEX 抑制)

PET：Positron emission tomography 陽子照射断層撮影・生体内の生理学的・生化学的
変化に忠実に表現する。 作成：NPO 法人補完代替医療推進センターCAM H/Y

「アルツハイマー型痴呆症・脳血管性痴呆に役立つ」

免研学術資料

～“免研・オメガPS 粒剤の主成分”～

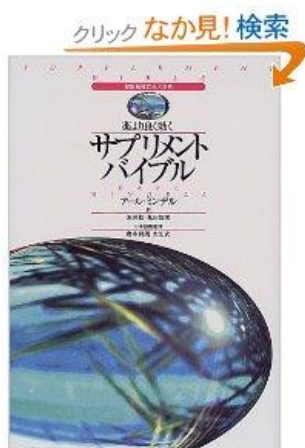
2011.4.25. 2013.3.20.追筆

書籍～薬より効く～「サプリメントバイブル」

アール・ミンデル博士 著より 世界的有名な薬学・栄養学の博士です。

ベストセラー「ビタミン・バイブル」の著者

＜ホスファチジルセリンPS・大豆抽出リン脂質＞



事実●最近、五十歳代の友人が私に、物忘れがひどくなったと告白しました。電話番号を思い出すのに時間がかかり、人の名前を忘れることもしょっちゅうだし、メモしておかなければ何をするつもりだったのかも忘れてしまうそうです。このことは彼にとって悩みの種でしたが、これがごく自然な現象であることを知って彼は安心しました。事実、この現象には「**老化に伴う記憶障害**」という名前さえついているのです。私たちは中年期に差しかかると、老化に伴う精神的変化が起きているのを感じるようになります。このような変化のなかで、とくに気になるのが、一時的な記憶力の低下です。何十年も昔の出来事を

はっきりと覚えているのに、たったいま紹介された人の名前を忘れてしまうことがあります。

中年期をすぎて**記憶力が低下する理由は、正確にはわかりませんが、脳に存在する化学物質の変化が原因だとする証拠があります**。脳にはリン脂質など、大量の脂肪組織が含まれています。リン脂質は細胞を結合させるだけでなく、細胞に出入りする物質をコントロールしています。PSはとくに重要なリン脂質の一種で、化学伝令を脳に行き渡らせて、細胞が情報を蓄積し、探し出せるようにします。中年期をすぎると、PSなどの脳内の重要な化学物質が減少し、脳が十分に機能しなくなることが理由のひとつです。

PS サプリメントを摂ることで脳能力を向上できるという証拠があります。最近「神経学」誌に発表された研究報告では、正常な老化に伴う記憶障害をもつ五十歳から七十歳までの健康な男女 149 人を対象に、毎日 100 グラムの PS と偽薬を 12 週間にわたって投与しました。



PS グループは、電話番号や顔や名前を記憶する力や、文章を記憶する力、間違い探しを解くスピードや集中力などが著しく向上しました。一方、偽薬グループには際だった変化は見られませんでした。この研究を行った研究者によれば、**PS サプリメントが被験者の精神能力を平均十二歳も若返らせたことになります**。老化に伴う記憶障害がある人は PS を試してみてください。



脳の健康セミナー

日米の最新の研究成果

日本ファミリーケア株式会社

作成：一般社団法人免研アソシエイツ協会

「オメガ P S」主成分の働き

**ホスファチジルセリン
(P S)**

脳神経細胞膜の成分。
脳の栄養取り込みや、
神経伝達機能を促進する。

**DHA/EPA
(オメガ3 脂肪酸)**

血管の柔軟性を上げ、
脳血流を促進して、
脳機能を改善する。

脳の老化

I. 物忘れ

- | |
|--|
| 1. “あれ”、“それ”等の代名詞を使うことが多くなった。 |
| 2. 鍵やめがね、財布の置き場所を忘れる。 |
| 3. 電車の切符を探すことが多い。 |
| 4. 隣の部屋に物を取りに行ったのに、何を取るのか忘れていていることがある。 |
| 5. ガスの消し忘れがある。 |
| 6. 買い物に行ったのに、肝心な物を買忘れことがある。 |
| 7. 会社の名前や部屋番号を忘れることがある。 |
| 8. 取引先の名前が出てこないことがある。 |
| 9. 会議の決議事項を忘れることがある。 |
| 10. 約束の時間や場所を忘れることがある。 |

脳の老化

II. 老人性うつ症

- | |
|------------------------------------|
| 11. 理由もなく怒ることが多くなった。 |
| 12. 最近、人と話すことが少なくなり、黙っていることが多くなった。 |
| 13. ぼんやりしているしている時間が多くなった。 |
| 14. 声が小さくなり、聞きにくくなった。 |
| 15. 同じことを何度も繰り返すことが多くなった。 |
| 16. 財布がなくなった、お金を盗まれたということがある。 |

物忘れ



脳の老化

III. 痴呆症

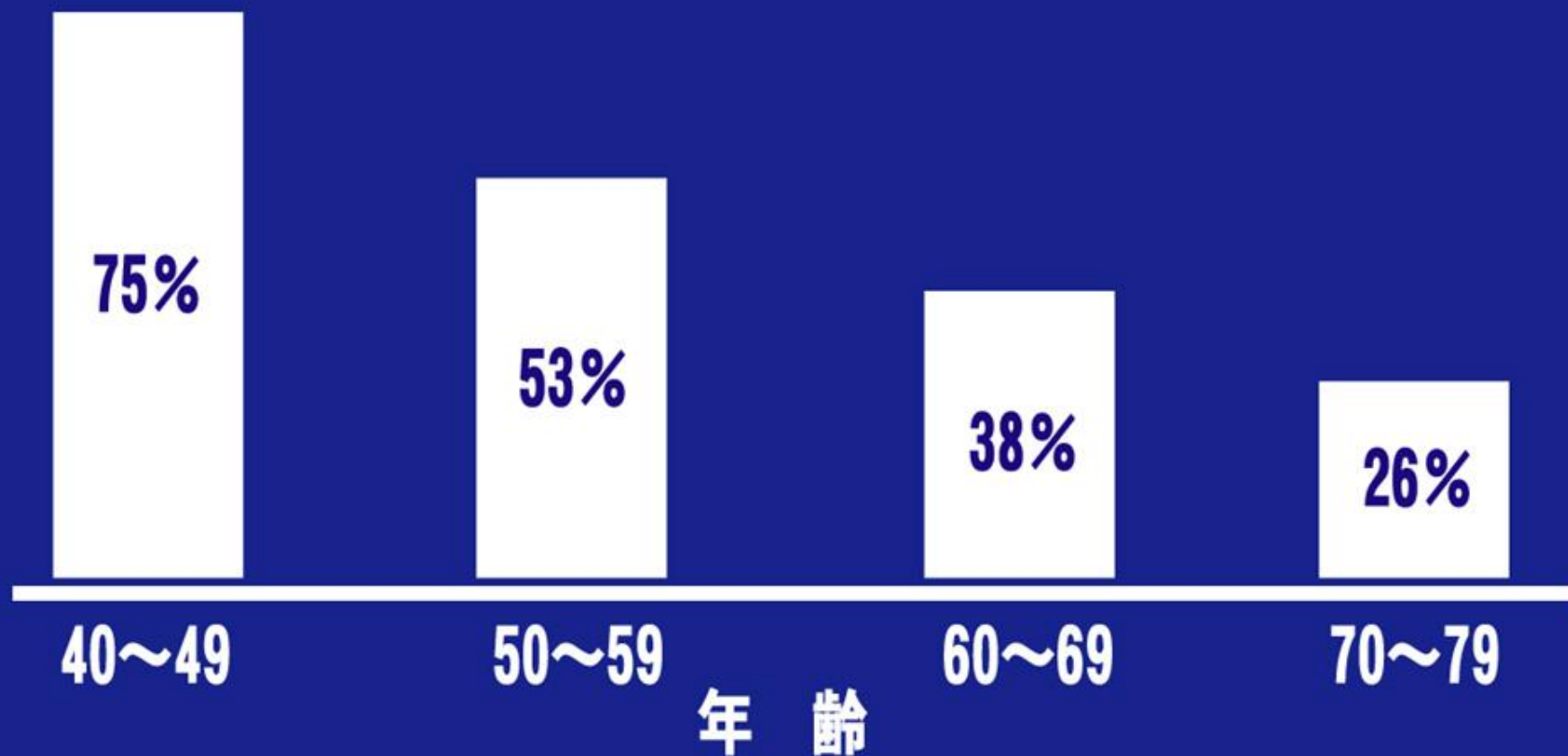
- | |
|--------------------------------------|
| 17. 顔の表情がなくなり、無口になった。 |
| 18. 時節はずれのことを言ったり、遠い昔の話を何度もするようになった。 |
| 19. 家族の名前を間違えるが、間違いに気づかないことがある。 |
| 20. ご飯を食べたばかりなのに、食事を催促する。 |
| 21. 郵便局、駅、銀行、スーパーの場所を間違える。 |
| 22. 服を着たままお風呂に入る。 |

IV. パーキンソン症

- | |
|------------------------------|
| 23. 片手が振るえることがある。 |
| 24. 歩幅が小さくすり足で、手を振って歩けない。 |
| 25. 最近良く転ぶようになった。 |
| 27. 動作が不器用で、緩慢になった。 |
| 26. 歩き出すと、止まらなくなり、塀や電柱にぶつかる。 |

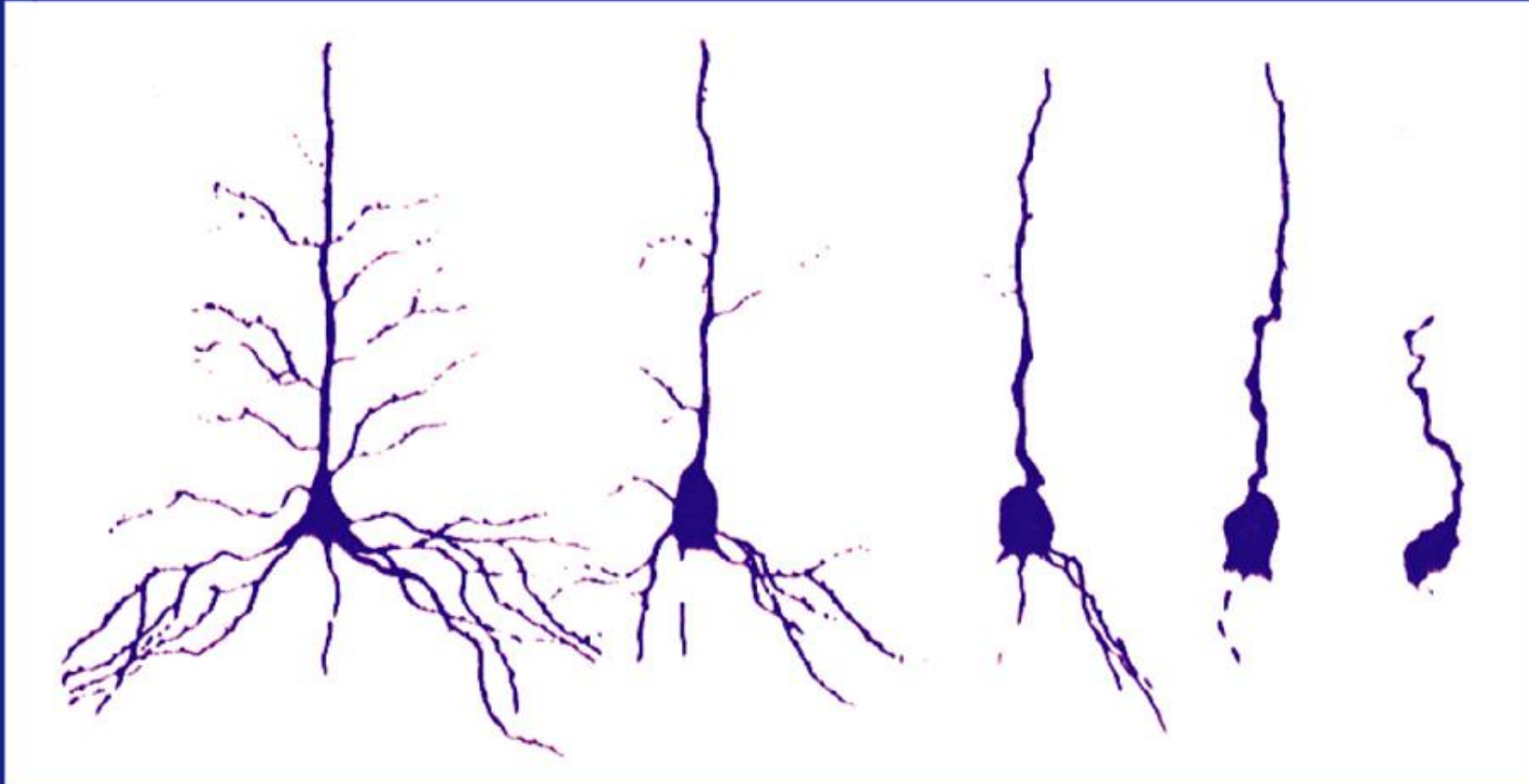
加齢による記憶力の減退

紹介 1 時間後の名前の記憶率



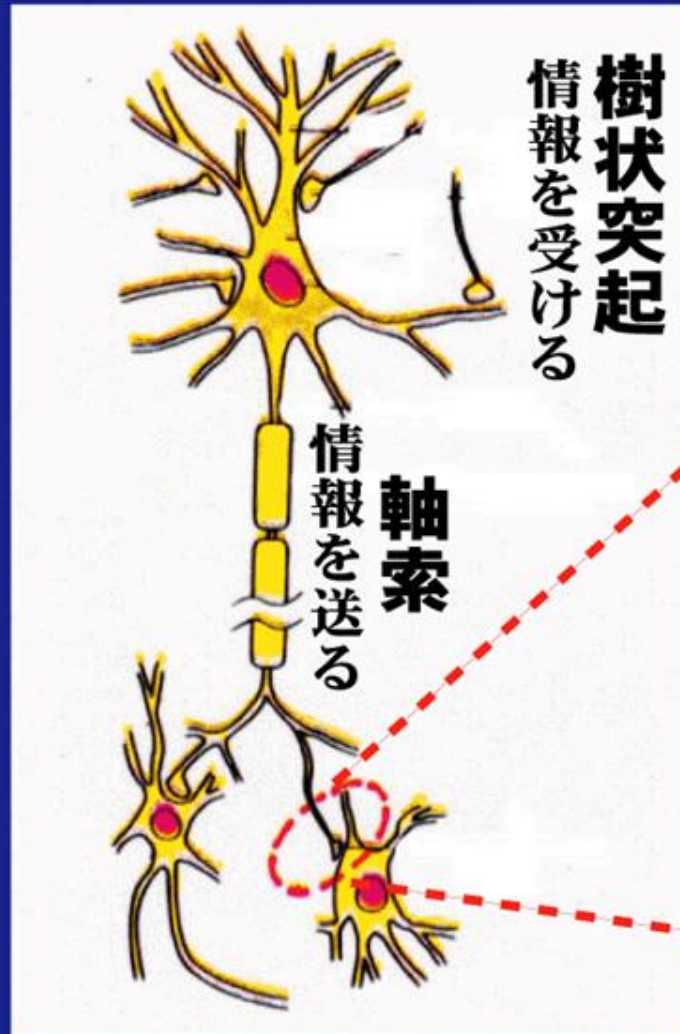
加齢によるニューロン退行

老化によってニューロンが脱落してゆく過程

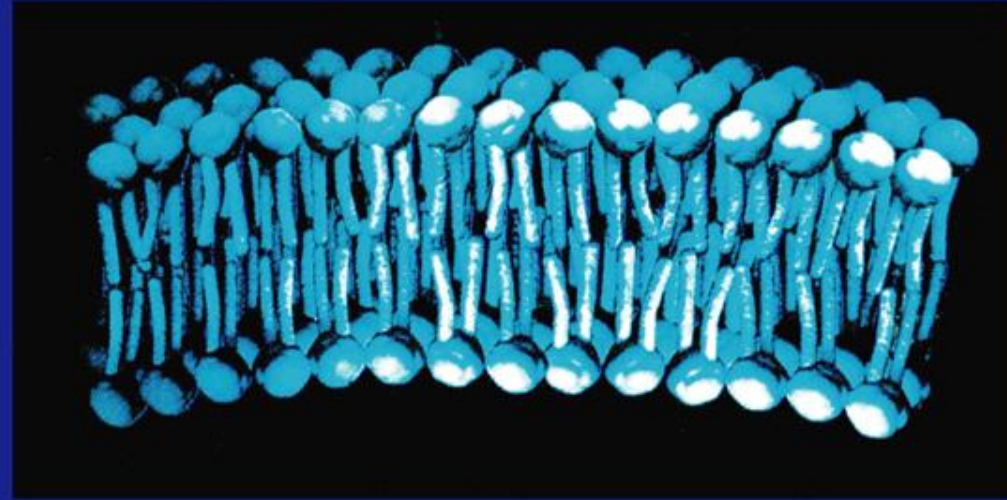


脳の機能を担うニューロン

難聴



神経細胞膜はリン脂質で出来ている



大脳の乾燥重量の50%はリン脂質

ホスファチジルコリン 32%

ホスファチジルエタノールアミン 30%

ホスファチジルセリン 14%

ホスファチジルイノシトール 3%

P S の薬理作用

- ・ 細胞内への栄養の取り込み促進
- ・ 細胞間の情報伝達の促進
- ・ 神経伝達物質の生成の促進

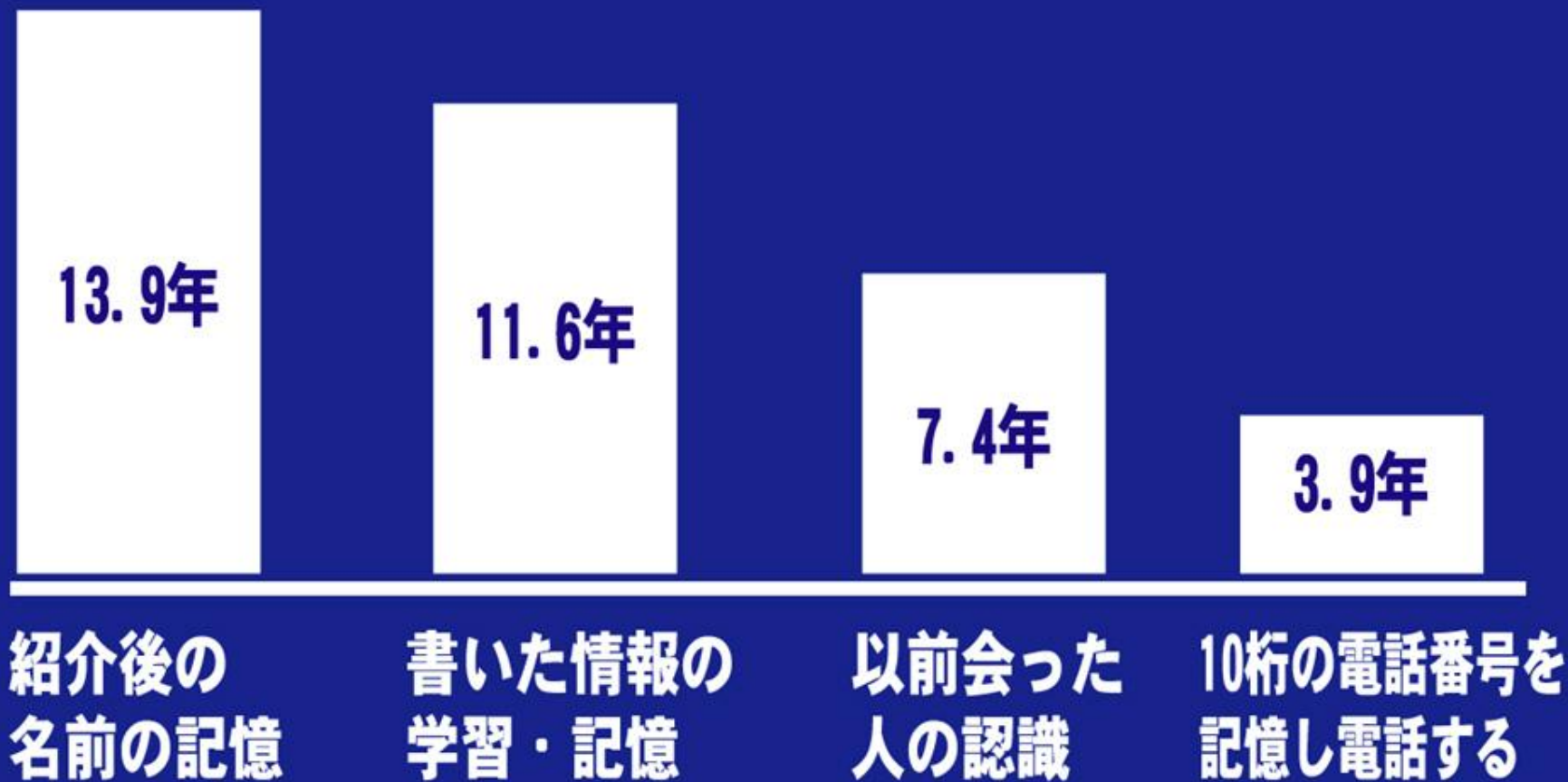
アセチルコリン 痴呆症

ドーパミン パーキンソン症

セロトニン うつ症

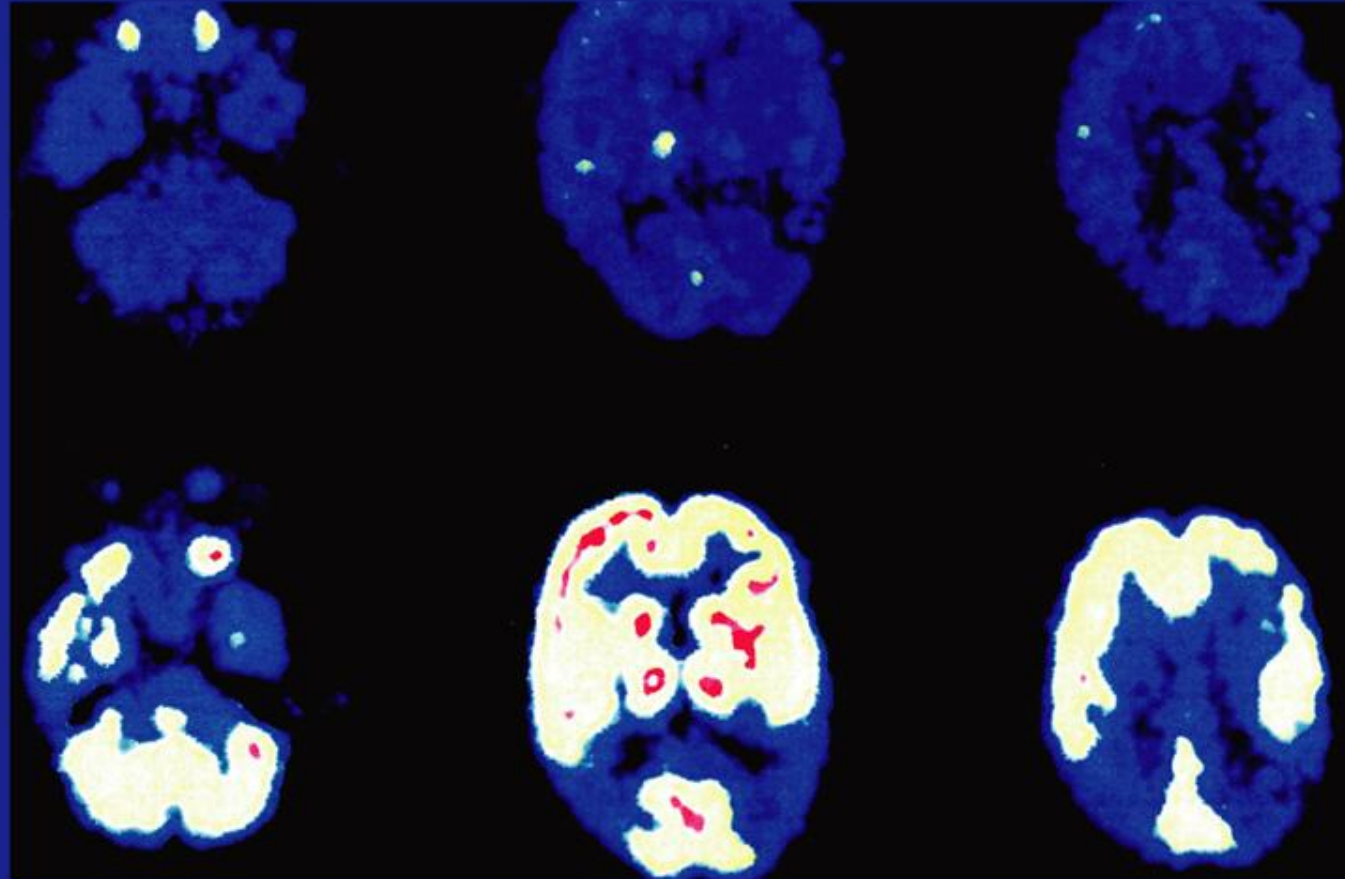
PSによる記憶力の回復

回復年数（若返り年数）



PSは脳を活性化する

耳鳴り



PET診断画像

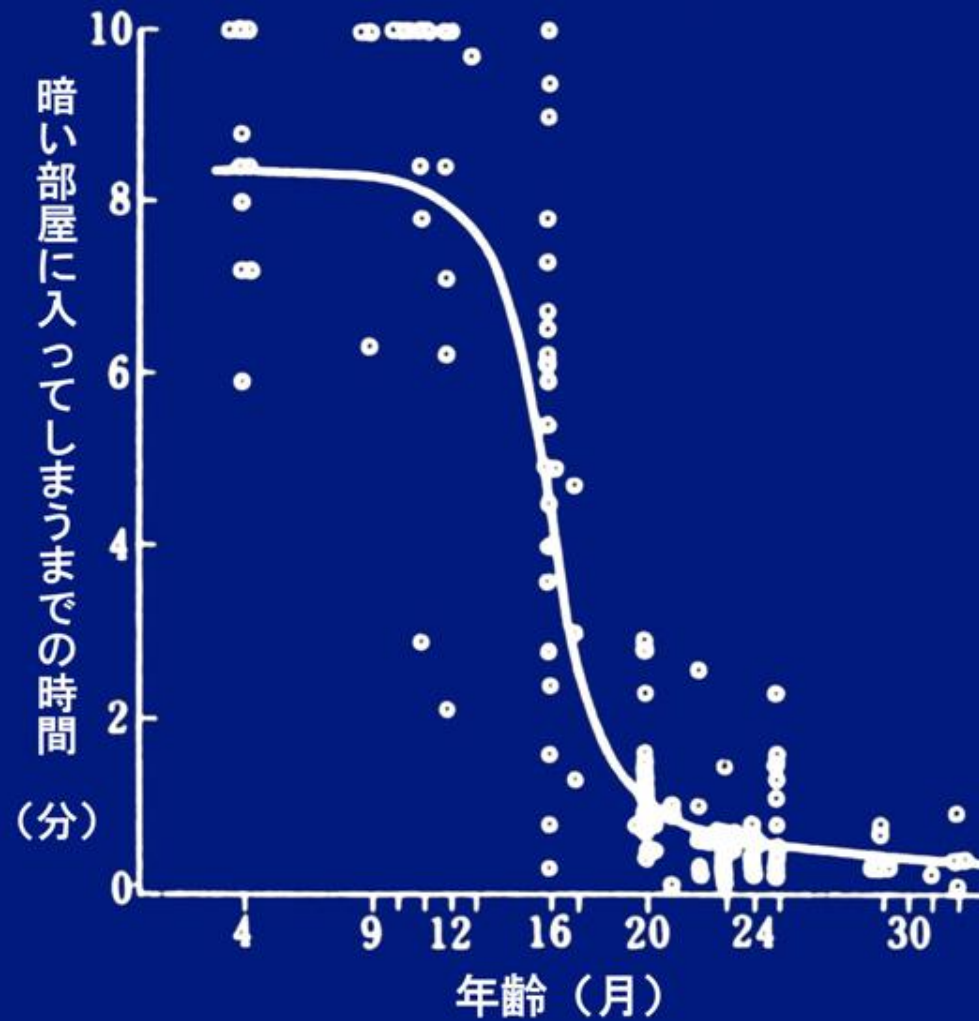
上段：PS使用前

下段：PS使用後



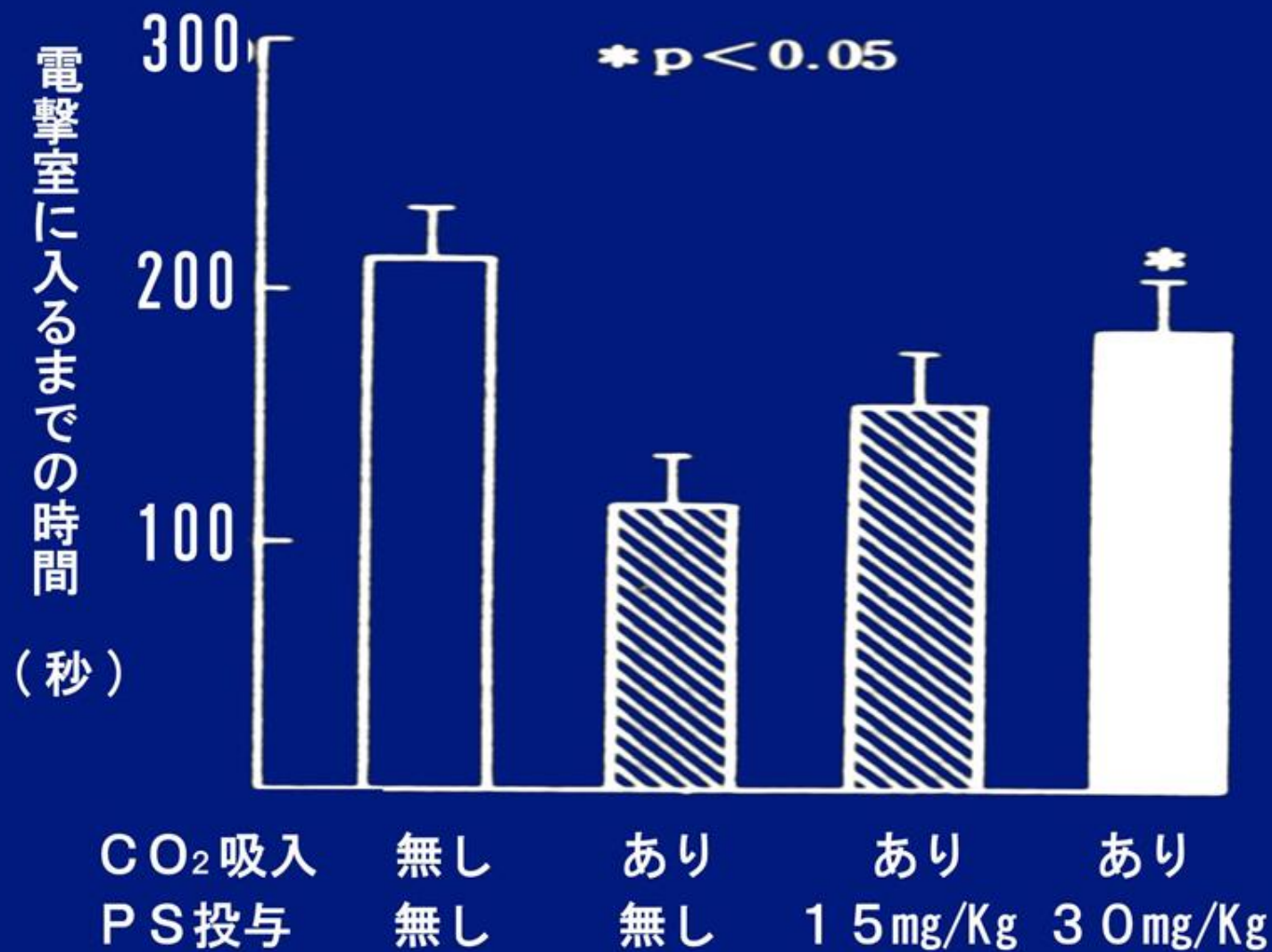


受動的回避学習



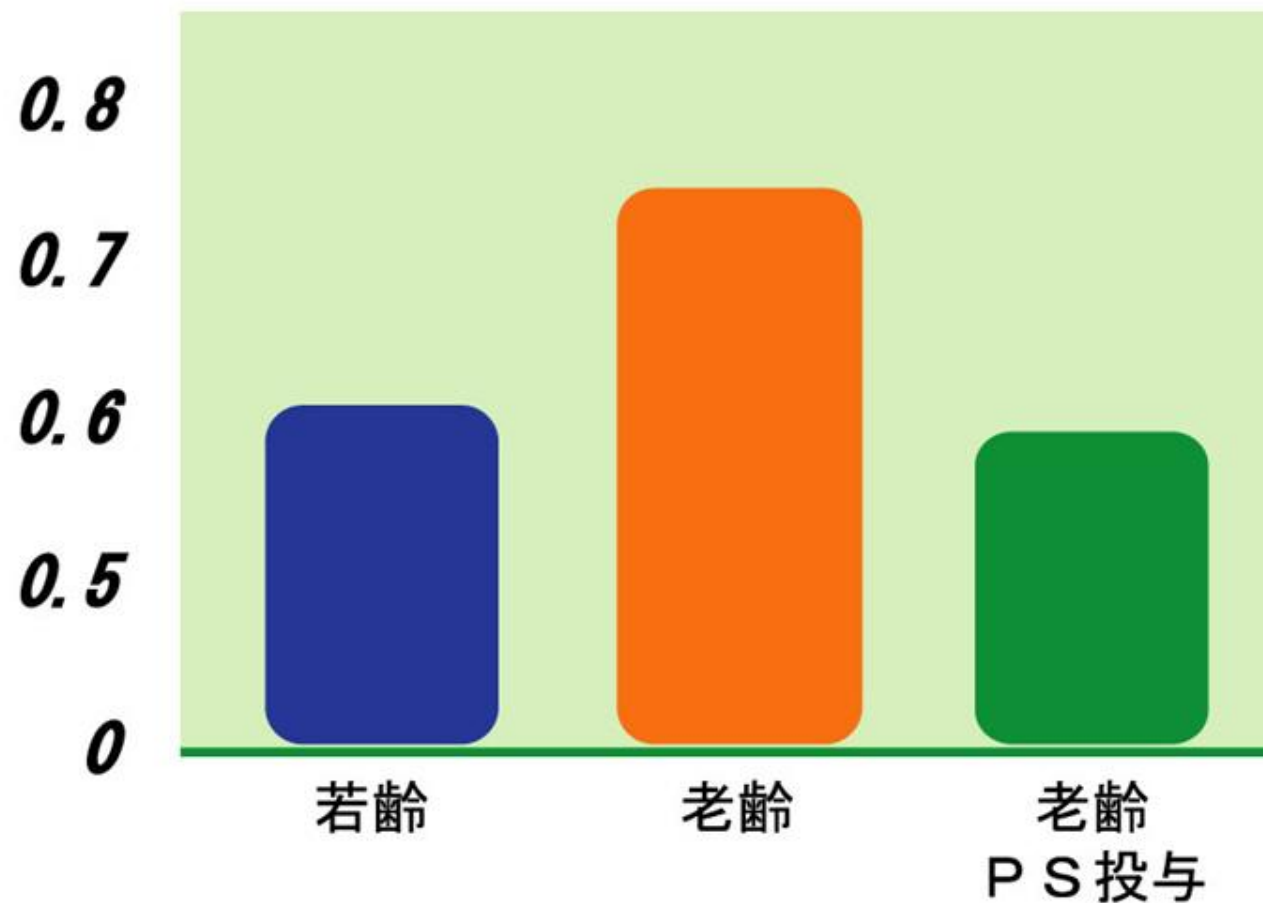
ラットの老齢化による記憶能力の低下

(R. T. Bartusら、1980)



無酸素（二酸化炭素吸入）による健忘症と
ホスファチジルセリンによる防止効果

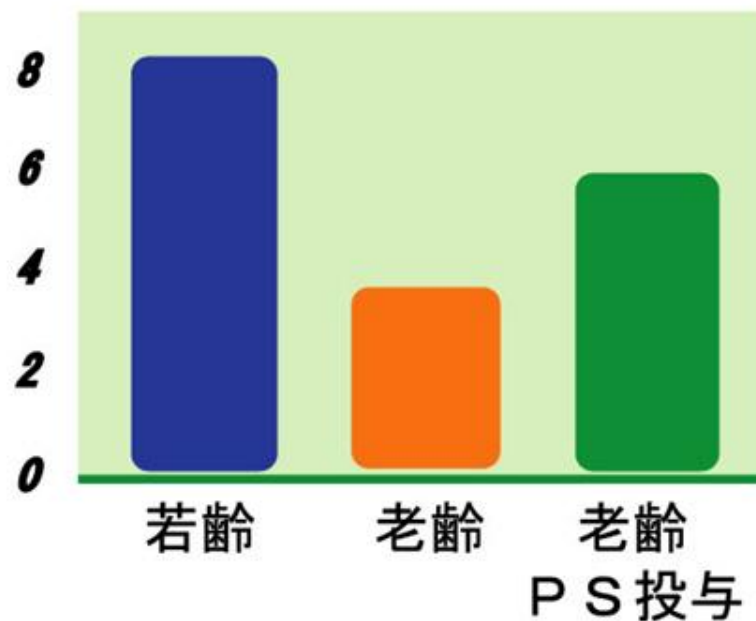
リン脂質に対するコレステロールの比率



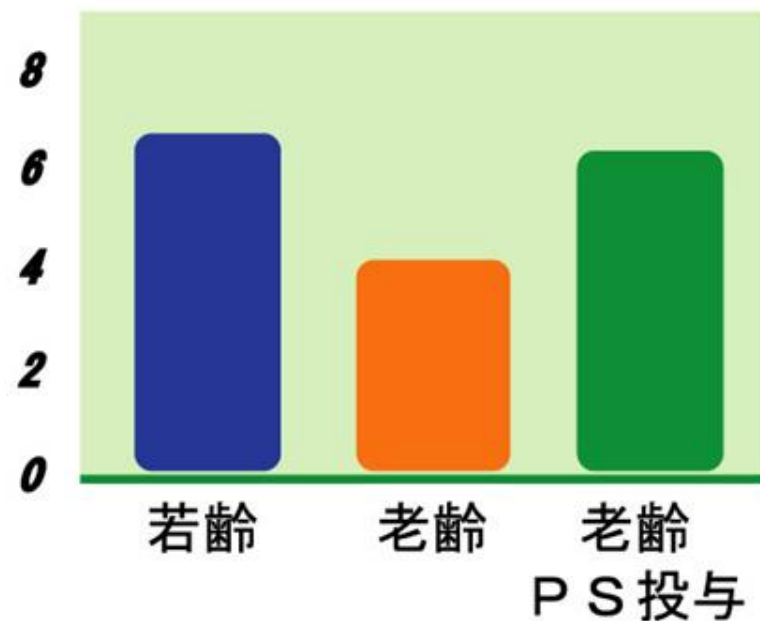
PSはアセチルコリン及び ドーパミンの分泌を促進します

めまい

アセチルコリン[pmol/g × 20min]

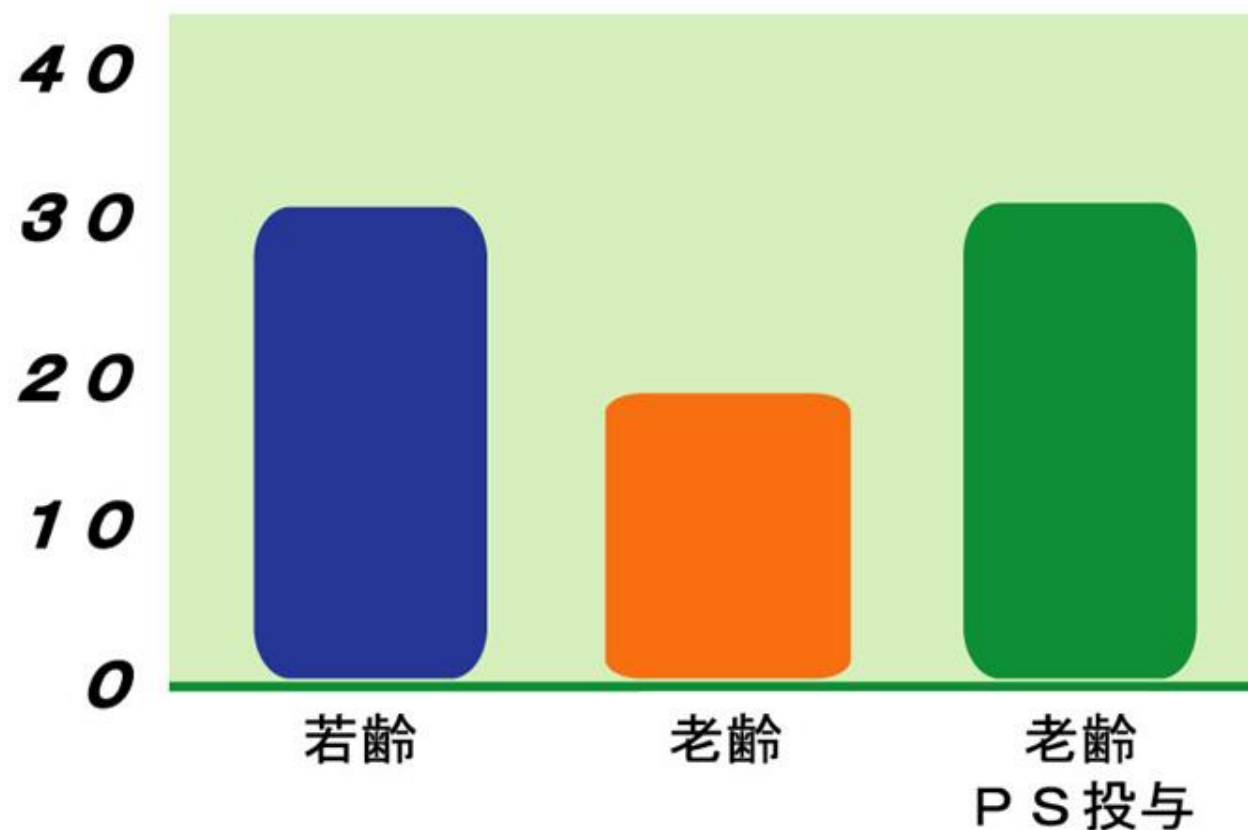


ドーパミン[mg/g × min]



PSの長期補給は 加齢による脳機能の低下を防止します

ラットの反応率 (%)



PSの臨床試験結果

老人性痴呆症

- ・失われた認識力（記憶力・集中力・学習力）を部分的に蘇生
- ・無表情・無関心・無感動・引きこもり等の日常生活を改善
- ・患者のQOL・ADL・IADLを改善し、家庭と社会に留めおく
- ・初期の症状の患者にもっとも大きな効果が期待できる

老人性うつ症

- ・うつ症が改善され、記憶力・集中力・注意力等の認識力が改善
- ・無表情・無関心・無感動・引きこもり等の日常生活を改善

パーキンソン病

- ・パーキンソン病患者の運動機能（振戦、固縮）、精神機能が改善

精神機能評価表

氏名

評価日H 年 月 日

長谷川式簡易知能評価スケール(改訂)HDS-R

	質問内容	配点
1	お歳はいくつですか？(2年までの誤差は正解)	0 1
2	今日は何年の何月何日ですか？何曜日ですか？ (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年 0 1 月 0 1 日 0 1 曜日 0 1
3	私達が今いるところはどこですか？(自発的に出れば2点、5秒おいて、家ですか？病院ですか？施設ですか？の中から正しい選択をすれば1点)	0 1 2
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。 あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1：a) 桜 b) 猫 c) 電車 2：a) 梅 b) 犬 c) 自動車	0 1 0 1 0 1
5	100から7を順番に引いて下さい。(100-7は？それからまた7を引くと？と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	(93) (86) 0 1 2
6	私がこれから言う数字を逆さから言って下さい。 (6-8-2, 3-5-2-9) (3桁逆唱に失敗したら打ち切る)	286 9253 0 1 0 1
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合、以下のヒントを与え正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a:0 1 2 b:0 1 2 C:0 1 2
8	これから5つの物を見せます。それを隠しますので何があったか言って下さい。 (時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの)	0 1 2 3 4 5
9	知っている野菜の名前をできるだけ言って下さい。 (答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒待ってもでない場合にはそこで打ち切る)	0 1 2 3 4 5
満点：30 カットオフポイント：20/21 (20以下は痴呆の疑いあり)		合計得点

図1. HDS症例別評価点数

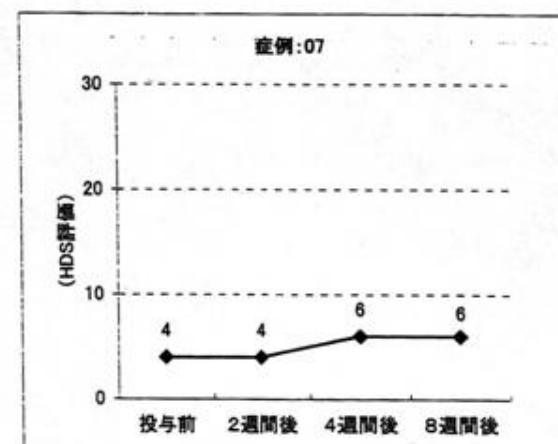
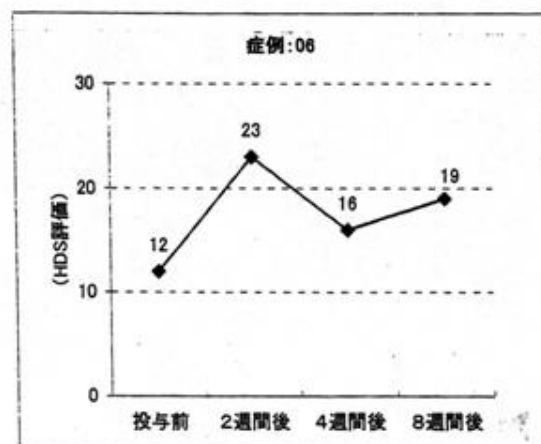
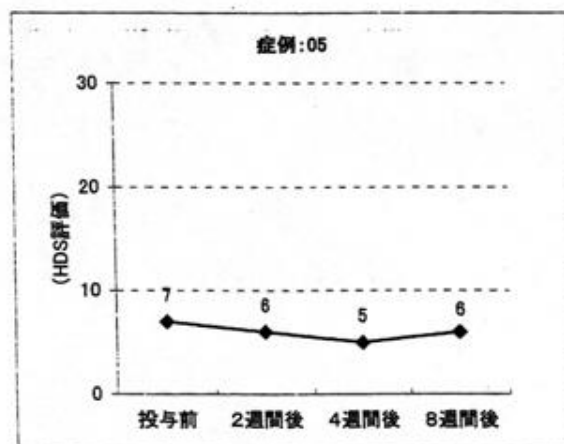
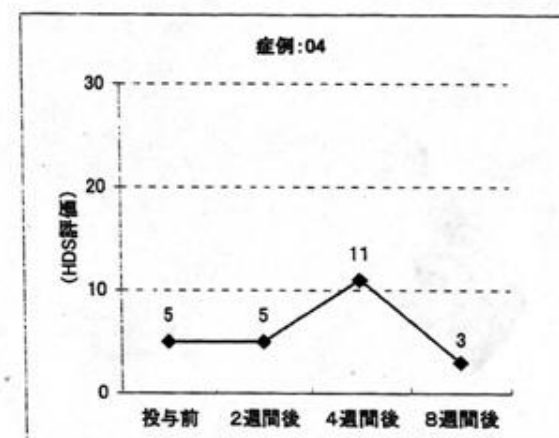
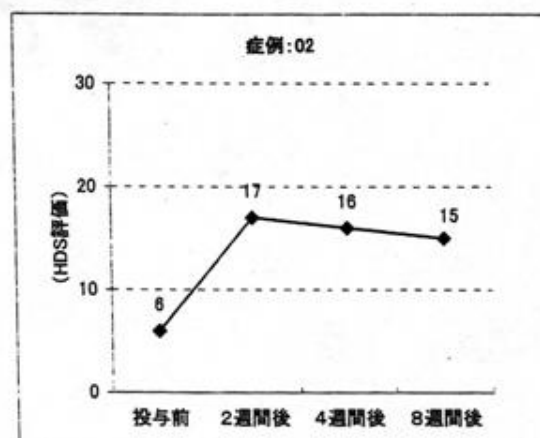
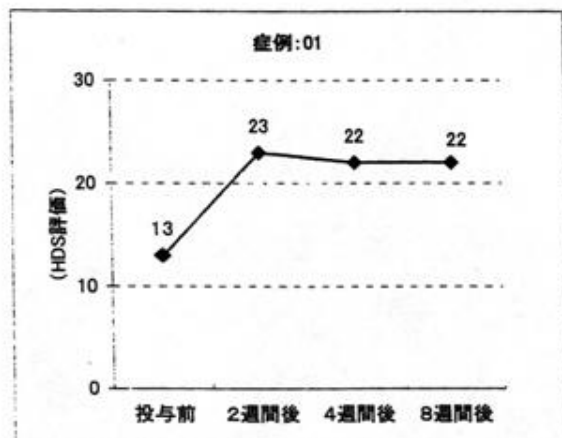


図2. HDS全症例平均値

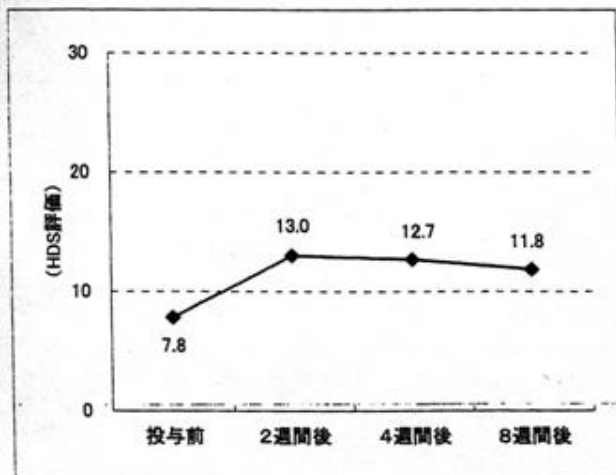


図3. HDS前値10点以上の症例平均

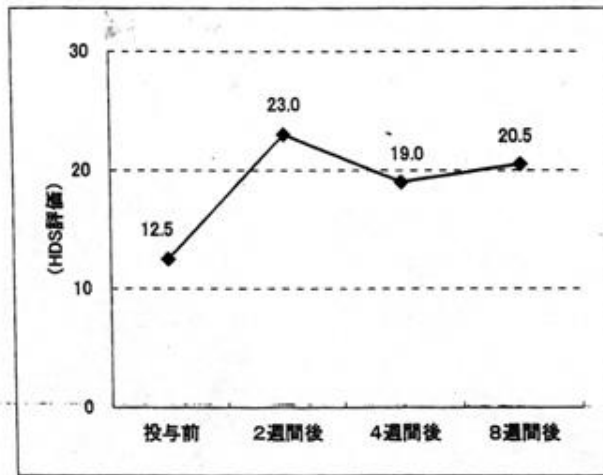
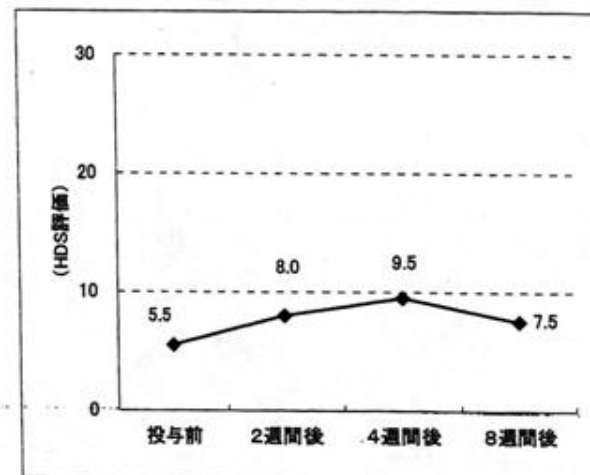


図4. HDS前値10点以下の症例平均



注意力散漫・過多動の児童に対する P S の効果

対象者：3～19歳の注意力散漫な過多動の子供

投与量：体重に応じてP S 1日200～300m g

投与期間：4ヶ月

結果：27人中25人に著しい効果が認められた。

粗暴な行動が一貫して沈静化された。

気分の落ち込みおよび不安が改善された。

注意力・集中力・記憶力および学力が向上した。

副作用は全く認められなかった。

PSの安全性

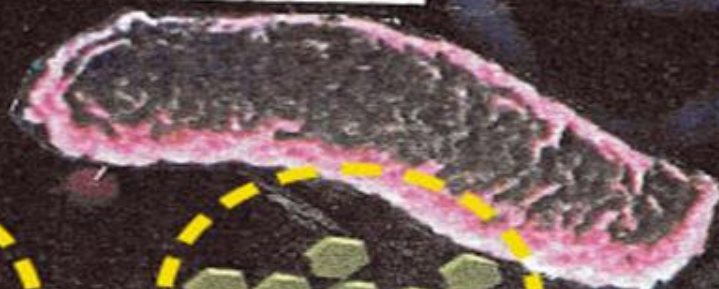
- 植物動物に存在する主体成分で、血液脳関門を通過する安全な物質である
- 現在までに、50～90歳の高齢者を対象とした60件以上に及ぶ臨床試験で副作用は報告されていない
- 医薬品と併用しても、相互作用の心配は無い

PSの推奨摂取量

- 予防を心がける人・・・1日100mg～200mg
- 改善を求める人・・・・・・1日300mgを1～2ヶ月、
その後は1日100～200mg

ウイルス

細菌



糖鎖

糖鎖

受容体蛋白

ホルモン

細胞表面

糖鎖

西洋医学と補完医療併用を推進して20年。今までに難病患者430名に糖鎖食品を利用して頂き、良い結果が出ました。さらにこれから「CAMセラピー」を開始します。

一般社団法人免研アソシエイツ協会 代表 山本英夫

CAMセラピーとは

- ・糖鎖セラピー
- ・ヨウ素セラピー
- ・プラセボセラピー

■あなたはどんな「難病で」お悩みですか・・・

- 発達障害
- 肺気腫
- 突発性難聴
- 自律神経系耳鳴り
- 耳鳴り、めまい、難聴
- 認知症
- 突発性難聴、めまい
- 耳鳴り・キンソン病
- 掌蹠膿疱症・アトピー性
- アトピー性皮膚炎
- 子宮内膜症、病的肥満
- 筋萎縮性側索硬化症
- 原因不明の湿疹
- アレルギーによる湿疹
- 通年性花粉症
- 乳がん・各種がん
- 悪性リンパ腫
- 脊髄小脳変性症
- 重症末期肺炎
- 拡張型心筋症
- 間質性肺炎・多発性筋炎
- 非定型性抗酸菌症
- 多形滲出性紅斑
- 気管支喘息

■当協会が薦める「CAMセラピー」とは・・・厚生省指定の難病は331疾病です。

- 糖鎖セラピー・・・人間の身体は細胞で組織されています。細胞の構成成分「糖鎖食品」で細胞を活性化させる。
- ヨウ素セラピー・・・海からの恵み、有機ヨウ素の優れた効果を利用する。
- プラセボセラピー・・・プラセボとは偽薬や偽治療のことで、薬効成分が含まれていない薬を処方したり、治療していないのに治療したかのような心理的暗示効果にて実際に健康状態が良くなることをプラセボ効果という。その他、従来の補完医療も利用する。

糖鎖食品実践使用例

- 73歳心筋梗塞を患いカテーテル施術後、各器官悪化 (1-3)
- 62歳脳性マヒ改善 (4-1) ● 長年の原因不明高血圧 (4-2)
- 顔面神経痛 (3-1) ● 長年の筋萎縮に病状回復 (3-2)
- 胃癌から生存14年 (2-1) ● 不妊症・41歳出産 (1-2)
- 年配色素沈着改善 (8-1) ● ノロウィルス家族で改善 (11-1)
- 悪性リンパ腫・高血圧 (4-3) ● 花粉症 (8-2)
- 末期肺がん (11-2) ● 肺気腫・不整脈 (10-1)



CAMセラピーの基本理念は「病気」ではなく「病人」を治す。

「難病電話相談」をお受けしています。毎週(土)午前中 06-6943-0122

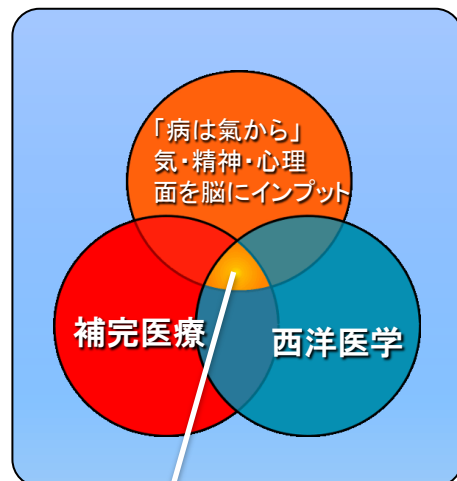


免研CAMによる補完代替医療

■補完代替医療(CAM)の基本理念は「病気」ではなく「病人」を治す。

現代西洋医学に補完医療等を併用し、より良い治療法を開発するために「補完代替医療推進センターCAM」が設立されました。

補完代替医療(略称:CAM)とは、機能的食品、サプリメント、鍼灸、漢方などの東洋医学、各種伝承医学、気功、呼吸法、Zen禅、アロマテラピー、食事療法を駆使して、人間が本来持っている自然治癒力を回復させ、病気を治療へと導くことを目的としています。現代西洋医学だけの治療では難しいといわれている病気「難病」に対応すべく、欧米諸国で新しい医学の大きな流れとなりつつある補完代替医療を含むより良い治療法を、医師とともに研究・開発・実践しています。



この分野を推進するのが「免研CAM」です。

開発者の著書『糖鎖』の健康学

糖鎖研究にご協力いた、医師、薬学博士、農学博士各分野の専門家と共著で糖鎖と健康を解説した書籍を出版。すでに約1万人以上の方々に読まれています。



～内容(目次)～

- 第一章 「治りにくい病気は糖鎖に異常あり」
今田勝美 東京農業大学元客員教授
- 第二章 「アメリカの代替医療と21世紀の健康法」
久郷晴彦 健康科学研究所所長
- 第三章 「細胞からからだ全体を元気にする」
今田勝美 東京農業大学元客員教授
- 第四章 「細胞形成と免疫に欠かせないミネラル」
田中 久 京都大学名誉教授・京都薬科大学元学長
- 第五章 「糖鎖栄養素含有食品はアレルギーを抑えられるか」
水野 雅史 神戸大学大学院農学研究科教授
- 第六章 「西洋医学を補完するために何が必要か」
小牟田 清 大阪警察病院副院長・呼吸科部長
- 第七章 「対症療法から完治のための根本治療へ」
山口 正茂 山口医院院長
- 第八章 「細胞の先端から元気にする糖鎖栄養素」
山本 英夫 NPO法人補完代替医療推進センターCAM

- 一般社団法人免研アソシエイツ協会
 - ・補完代替医療推進センターCAM
 - ・難病患者への電話相談室
 - ・65歳からの健康を考える会
 - ・発達障害を考える会
 - ・イオン吸着鉱物スキンケア研究会
- 「難病電話相談」をお受けしています。
毎週(土)午前中 06-6943-0122
連絡先: 06-6943-0122
Mail: info01@menken-cam.com





一般社団法人免研アソシエイツ協会
NPO 補完代替医療推進センターCAM

〒540-0026 大阪市中央区内本町 2-3-8-811 TEL:06-6945-3520 FAX:06-6920-9252

Mail:info01@menken-cam.com <http://menken-cam.or.jp>